【所轄地区:武里南地区】

武里南地区公民館・武里大枝公民館

◇運営の基本方針

生涯学習の拠点施設のひとつとして、市民の学習要求に応える事業及び情報の提供を行う。

◇重点施策

1　きめ細やかな学習の場と情報を提供する。
2　青少年の健全育成の場を設ける。
3　地域住民の健康増進と住民相互の交流を図る。

◇重点事業

1　子育てふれあいサロン
2　武里団地体育祭
3　体験講座
4　音楽鑑賞会

武里南地区公民館
所在地　〒344-0023　春日部市大枝８９番地武里団地７街区５棟
ＴＥＬ　０４８－７３６－８１０４
Ｅ-mail takenankou@city.kasukabe.lg.jp

武里大枝公民館
所在地　〒344-0023　春日部市大枝８９番地武里団地２街区１棟
ＴＥＬ　０４８－７３７－８０２２
ＦＡＸ　０４８－７３７－８０２２
Ｅ-mail　ohedakou@city.kasukabe.lg.jp

職　員　　館　　長（兼務）　島　田　　敬
　　主　　査（兼務）　松　田　あかね
　　主　　任（兼務）　高　橋　憲　和
　　主　　任（兼務）　渡　辺　　博
　　フルタイム（兼務）　清　和　秀　樹
　　フルタイム（兼務）　山　口　智恵子

武里南

武里南地区　1

事　業　名 テ　ー　マ	幼児家庭教育学級 子育てふれあいサロン	対　象	乳幼児と保護者	定員	10組
ね　ら　い	子育てに関する考え、悩みを持つ子育て中の親に、交流と情報の交換の場所を提供し、子育ての負担感の軽減を図るとともに、幼児期の育児について学習してもらい、子育て力の向上、地域の子育て支援機能の拡充を図る。				
協力機関 及び団体	武里団地地区民生委員・児童委員協議会 武里団地地区更生保護女性会 子育ち応援団　ゆめ色	特　色 位置づけ	重点事業	SDGs の目 標No	3・11・17
会　　場	武里南地区公民館	教　材 資 料 等	必要に応じて用意		
実施まで の 経 過	令和5年2月民生委員・児童委員協議会、子育ち応援団ゆめ色へ協力依頼以降、毎月の開催までに講師折衝、打合せ、広報を行う	PR方法	毎月の公民館だよりに掲載 市の公式SNSとメールに依頼		
		受付方法	開催2週間前に窓口・電話にて受付		

月日(曜) 回　数	時　間 総時間数	内　　容	方法	参加者 男 計	参加者 女 計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏　名
4月19日(水)	10:00～11:30	絵本の読み聞かせ	体験	3	5	8	武里図書館司書
5月17日(水)	10:00～11:30	ママヨガ＆ベビーマッサージ		2	1	3	外山　君江
6月21日(水)	10:00～11:30	アコーディオン演奏		4	9	13	松井　哲也
7月19日(水)	10:00～11:30	体操・画用紙シアター等		2	12	14	子育て支援センター 田村　麻希子
9月13日(水)	10:00～11:30	ちびっこ運動会		6	9	15	いつもゆめ色 田村　ゆり
9月16日(土)	10:00～11:30	乳幼児救命救急講習		2	15	17	消防本部職員
10月18日(水)	10:00～11:30	えいごでハロウィーンパーティー		4	4	8	鳩間　美和
11月15日(水)	10:00～11:30	絵本の読み聞かせ		2	6	8	武里図書館司書
12月20日(水)	10:00～11:30	サンタとあそぼう！		20	29	49	山森　澄子 山田　優子
1月17日(水)	10:00～11:30	ピエロさんとあそぼう！		5	6	11	安藤　茂雄
2月21日(水)	10:00～11:30	えいごであそぼう！		5	6	11	森　徳子
3月13日(水)	10:00～11:30	うたってあそぼう！		2	8	10	山田　優子
11回	18時間			57	110	167	

企画運営上 の　工　夫	・参加者同士や協力者との交流・情報交換ができるよう、自由に話せる時間を設けた。 ・毎月、親子で楽しめる企画を実施し、育児の息抜きや、お子さんとの思い出作りの場になるよう努めた。 ・武里団地地区民生委員・児童民生委員協議会や地域の子育ち支援サークルの皆さんに運営の協力をしてもらい、子育ての先輩として参加者の相談にのってもらえるようにした。
成　　果 参加者の 声　な　ど	・参加者が企画を通して楽しい時間を共有することで、自由時間では自然と会話が生まれ、参加者同士の交流に繋がっていることが分かる。 ・毎月のアンケートにて「毎月楽しみにしています」、「普段体験できないことが体験できた」等の声を頂き、子どもと保護者共に開催を楽しみにしていることが分かる。 ・平日の参加が難しい方に配慮し、土曜日に開催日することで新たな交流を促した。
課題と展望	・本事業は、乳幼児と保護者同士の交流の場として、それぞれの悩みや自由な情報交換の機会として大変有益であるため、今後も魅力ある企画を実施し、さらなる充実を図っていきたい。 ・子どもと保護者で楽しめる企画を行う上で、地域の人材を活用することが最も大切なポイントだと考え、毎年同じ企画にとらわれず地域の人材発見に尽力したい。

事業名 テーマ	サークル発表会 ①舞台部門 ②展示部門	対象	公民館利用団体	定員	－
ねらい	公民館で活動しているサークルの成果発表の機会を提供することで、サークルの文化活動及び会員の社会活動を支援するものである。				
協力機関及び団体	公民館利用団体	特色位置づけ	新規事業	SDGsの目標No	4・11・17
会場	武里大枝公民館 フリースペース内展示スペース	教材資料等	協力団体による作品		
実施までの経過	武里大枝・武里南地区公民館の窓口にて募集要項を配布・常時募集 開催依頼書の提出 内容及び開催日程の調整 開催日までに詳細打合せ 開催月号または前月号の公民館だよりに掲載 開催日の準備、運営	PR方法	公民館だよりに掲載 公民館ブログに掲載 必要に応じてポスターを掲示		
		受付方法	発表団体による		

月日(曜) 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男 合計	参加者 女 合計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
11月11日(土)	14:00～15:30	【舞台部門】 パフォーマンスと体験会	観賞	1	15	16	シニアバレエ
12月5日(火)～19日(火)	9:00～11:00	【展示部門】 折り紙	展示			215	くす玉の会
1月13日(土)～27日(土)	10:00～14:00	写真	展示			260	写真同好会武里
3回	－			1	15	491	

企画運営上の工夫	・文化祭の開催に代わる発表の場を提供することで、サークル活動を活性化させるほか、地域住民と様々な活動を知り、素晴らしい作品との出会いの機会を創出する。 ・各団体の自主的運営を支援することで団体の自主性と個性を生かす。 ・公民館入口を入ってすぐ見える場所に看板を設置し、また2階図書館利用者も入りやすいように展示場所への動線を考えた。
成果参加者の声など	・バレエの発表と体験会では、バレエの基礎から応用まで丁寧に説明され、初心者から経験者まで楽しく学んでいた。 ・折り紙の展示では、「素敵な作品に感動した」、「次も楽しみにしています」という声が聞かれた。 ・写真の展示では、「自分もその瞬間にいるように感じ、その場所に行ってみたくなりました」という声があり、本事業の実施自体が、展示団体と来場者の双方に有益なことが分かる。
課題と展望	・文化祭に代わる新たな取り組みとして行ったが、サークルの日頃の活動成果の発表場の必要性を改めて感じた。 ・より積極的な広報を進めていくとともに、さらなる支援を進め、サークルの継続的な活動をサポートしていく必要がある。

武里南地区　3

事業名 テーマ	武里団地音楽鑑賞会	対象	一般	定員	事業により異なる
ねらい	地域の方が身近な場所で良質な音楽に触れることで、生活に潤いと安らぎを提供するとともに、心身の健康促進し、教養・文化の向上を図る。				
協力機関及び団体		特色 位置づけ	重点事業	SDGsの目標No	4・11・17
会場	武里大枝公民館 武里南地区公民館	教材 資料等	プログラム		
実施までの経過	各事業において、開催までに出演者との折衝、打合せ、広報を行う	PR方法	公民館だより掲載 安心安全情報メールにて配信		
		受付方法	事前チケット配布制（先着順）もしくは直接		

月日（曜） 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男計	参加者 女計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
7月9日（日）	14:00～15:30	木管5重奏によるコンサート	鑑賞	17	103	120	アンサンブルリール
3月2日（土）	14:00～15:30	ピアノとうたのコンサート	鑑賞	15	93	108	Saya
3月9日（土）	14:15～15:00	武里西小学校合唱部 ”スマイリ”ー表会	鑑賞	28	87	115	武里西小・合唱部
6回	8時間15分			60	283	343	

企画運営上の工夫	・曲によってステージの照明を変えることで、洗練されたコンサートの雰囲気を作り、演奏者と観客が一体となれる心地よい空間作りを目指す。 ・それぞれのユニットが、さまざまな楽器（大正琴・ハーモニカ・オカリナ等）を取り入れて演奏するので、その音色の良さに触れる機会を設けた。 ・曲によってステージの照明を変えることで、洗練されたコンサートの雰囲気を作り、演奏者と観客が一体となれる心地よい空間作りを目指す。 ・学校で活動している合唱部に発表の場を提供するとともに、地域住民に鑑賞の機会を作ることで、学校と地域のつながりをつくるきっかけとする。
成果 参加者の声など	・チケット配布開始から間もなく満員となり、昨年に引き続き人気の音楽鑑賞会であり、参加者からは「全体の音が美しく、レベルが高いと感じた」「モーツァルトなどの解説が分かりやすかった」などの声があった。 ・「こんなに近いところですてきな音楽に触れあうことが出来て感激した」「楽器の演奏がどれも素晴らしかった」等の声を多数いただき大盛況だった。 ・「とても楽しかった。生の音楽が聴けて良かった」と高評価であった。
課題と展望	・団地近隣で、クラシックの生演奏を聴くことかできるこの音楽鑑賞会は、高齢者に特に人気が高い事業であり、引き続き継続していきたい。 ・開催時期について、参加者の多くが高齢者であることを鑑み、真夏を避け涼しい時期で調整していきたい。 ・音楽鑑賞会として、小学生の合唱を鑑賞することは地域住民の活力につながる。学校行事の意味合いも出てくることから、公民館事業としての位置づけや運営方法を検討する必要性がある。

事業名 テーマ	レクリエーション・スポーツ教室	対　象	一般	定員	30名
ねらい	高齢化の進む武里団地の住民を中心に、身体を動かすことによる健康の維持増進を図り、併せてふれあいの場の提供をする。				
協力機関 及び団体		特　色 位置づけ		SDGsの目標No	4・11・17
会　場	武里大枝公民館　講堂	教　材 資料等	パドル（講師用意）		
実施までの経過	3月下旬　講師と顔合わせ 5月上旬　以後メールで打合せ 会場確認・打合せ 7月5日　事業実施 9月下旬　講師とメールで打合せ 11月22日　事業実施	PR方法	公民館だより6・11月号に掲載 安心安全情報メールにて配信		
		受付方法	事前申込制（先着順）		

月日（曜） 回　数	時　間 総時間数	内　容	方法	参加者 男 計	参加者 女 計	合計	講師・助言者の職名 氏　名
7月5日（水）	13:30～15:00	しゃもじの形をしたパドルを使った体操	体験	1	29	30	NPO法人パドルジャークス体操協会 及川　優子
11月22日（水）	13:30～15:00		体験	1	16	17	
2回	3時間			2	45	47	

企画運営上の工夫	・これまで武里団地自治会協議会の協力のもと「ユニカール」を実施してきたが、コロナ禍や高齢化の影響下、協力を得ることが難しい状況の中、ニュー体操として「パドル体操」を普及をしたいNPO法人パドルジャークス体操協会と、地域住民の心身の健康維持事業を進めたい公民館との目的が一致したことにより開催した。 ・第1回はすぐに定員に達し、地域のニーズが高いことが分かったため、年度内に第2回を企画した。
成　果 参加者の声など	・新しい体操として、中高年者にも受け入れやすい内容であり、講師の軽妙な話術で参加者を巧みに運動へと集中させ、参加者も満足と充実感を味わえた。 ・参加者からは、「健康維持のために続けていきたい」、「シリーズ化で開催してほしい」などの声も聞かれた。
課題と展望	健康や体力維持への関心は高く、今回のような体操や運動をする講座を期待していることが分かった。公民館主催事業としてレクリエーションスポーツ企画の事業を継続していきたい。

武里南地区　5

事業名 テーマ	教養講座 ①春のウォーキング・秋の散策 ②郷土歴史講座	対象	一般	定員	事業により異なる
ねらい	地域住民に、郷土への理解や関心を深める機会を提供するとともに、高齢者の多い武里団地近隣住民が外出するきっかけを作ることを目的に開催する。				
協力機関及び団体	①生涯学習市民推進員（武里南・武里地区）及び武里地区公民館 ②武里図書館	特色位置づけ	生涯学習市民推進員企画事業	SDGsの目標No	4・10・11
会場	①市内 ②武里大枝公民館	教材資料等	①しおり ②企画展示パンフレット		
実施までの経過	①生涯学習市民推進員との打ち合わせ、下見、実施 ②講師打ち合わせ、事業実施	PR方法	公民館だより掲載 安心安全情報メールにて配信		
		受付方法	直接または電話で武里大枝公民館及び武里地区公民館		

月日（曜） 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男計	参加者 女計	合計	講師・助言者の職名氏名
5月24日（水）	8:45～12:30	春のウォーキング	見学	1	4	5	生涯学習市民推進員
11月21日（火）	9:30～15:30	秋の散策 ～郷土を知る旅～	見学	11	15	26	（武里南・武里地区）
		【郷土歴史講座】					
8月4日（金）	10:00～11:30	権現山遺跡発掘調査60周年企画展示	講座	6	6	12	郷土資料館学芸員
2月2日（金）	10:00～11:30	「埋蔵文化財の発掘調査の意義とその必要性」	講座	4	2	6	文化財課学芸員
4回	13時間15分			22	27	49	

企画運営上の工夫	①（春）生涯学習市民推進員が分担して各所の説明や歌の時間を設けるなど、各自の得意分野を活かしてより楽しめる事業を目指した。（秋）市外への散策とし、バスを活用した。 ②郷土資料館の企画展開催時期（7/22～9/3）にあわせ、スピンオフ講座として実施し、より身近に感じられるよう直近の調査結果に基づく内容をメインに、春日部の歴史や武里地内に遺跡がない理由についてを題材とした。
成果 参加者の声など	①(春）生涯学習市民推進員の一人が主導となり、自然の中で歌う趣向は非常に好評であった。(秋）「個人では行きにくい消防本部の指令室などを見学できたことが良かった」 という声が多く、隊員の苦労や連携のすごさを感じてもらうことができた。 ②講演後の質疑等において、参加者から積極的な発言があり、関心の高さがうかがえた。
課題と展望	①(春）ウォーキングの後半は、大幅に遅れる参加者がいるなど、全体のペース配分の把握が難しくなってしまったため、スタッフの役割分担に留意したい。(秋）アンケートによると市内の公共施設や神社仏閣などを希望する人が一定数いることから、次年度以降の行程について生涯学習市民推進員との検討を重ねていく。 ②参加者の満足度が大変高い講座であることから、広く一般に興味を持たれるよう、さらなるPRを進めていく。

事業名 テーマ	青少年健全育成事業 ①夏休み科学教室 ②夏休み宿題サポート大作戦！ ③マジックショー＆マジック体験 ④冬休み科学教室	対象	幼児・小学生とその家族	定員	①30名 ②30名 ③50組 ④30名
ねらい	科学教室やマジック体験などを通し、子どもたちの好奇心や情緒、感性を養うとともに、同年代の人との触れ合いを深める機会を提供し、健全育成推進の一助とする。				
協力機関及び団体		特色位置づけ		SDGsの目標No	4・11・17
会場	武里大枝公民館　講堂　他	教材資料等	講師が用意した資料・教材		
実施までの経過	それぞれ、実施2ヶ月ほど前に講師依頼を行う。 以降、開催までにメール等にて打合せを行い実施する。	PR方法	公民館だよりに掲載 ②SNS発信 ③ポスター掲示、チラシ配架		
		受付方法	①③④事前申込制 ②子ども食堂ひなた公式LINEにて受付		

月日(曜)	時間	内容	方法	参加者 男	参加者 女	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
回数	総時間数			計	計		
7月29日(土)	10:00～12:00	お金の消える貯金箱をつくろう	体験	16	8	24	おもしろ彩エンスクラブ 小林　久美恵
				他保護者10名程度			
8月19日(土)	10:30～15:00	夏休み宿題サポート大作戦！	体験	2	6	8	NPO法人 かすかべ子ども食堂ひなた
8月26日(土)	14:00～15:30	マジックショー＆マジック体験	体験	7	8	15	春日部マジッククラブ 西山リウ子(他3名)
				他保護者10名			
1月6日(土)	10:00～12:00	ペーパークロマトグラフィーの科学	体験	1	3	4	おもしろ彩エンスクラブ 小林 久美恵
4回	10時間			26	25	51	

企画運営上の工夫	①材料費を100円で抑え、参加者が参加しやすくした。②学生ボランティアと夏休みの宿題をし、お昼はスタッフが作ったカレーライスを一緒に食べ、子どもたちの居場所づくり、仲間づくりのきっかけとした。③子どもたちの好奇心に応えるため、マジックをやって楽しむ体験型を取り入れた。④「夏休み科学教室」に続く第2弾として子どもたちの興味がわく題材を講師と一緒に選択した。
成果 参加者の声など	①「お金が消える仕組みを作るのが楽しかった」「科学が好きになった」など、好奇心を解明することの楽しさを伝えられた。②学生ボランティアと熱心に宿題をし、昼食後は和室でゲームをしたり、マジックショーでは前のめりで鑑賞する様子が見られた。③簡単にできるマジックの種を教えてもらい、自ら一生懸命に練習をして成功させた子どもたちは楽しさと充実感を味わっていた。④「黒色のマジックインクから赤、黄色、青などの色が出るのが不思議だった」など科学の楽しさや面白さを伝えることができた。
課題と展望	①科学教室の人気が高く、申込み開始初日から応募が殺到したため、年度内に第2回を実施した。②実施日程の調整に時間がかり夏休み期間中の周知となってしまったため、余裕を持って計画する。③マジックの種を知ることに子どもたちは大変興味があり、自分でできるという喜びが大きく、次回もマジックを体験できる内容にしたい。④申込者が少なかった原因を研究し、多くの子どもが参加できるよう実施方法を検討する。

武里南地区　7

事業名 テーマ	外国人による日本語スピーチ大会	対象	一般	定員	200人
ねらい	武里団地近隣在住の外国人を中心に、日本について日頃感じていることなど、様々なテーマを日本語でスピーチすることで、日本人の異文化理解や国際交流へのきっかけをつくる。				
協力機関及び団体	武里日本語教室	特色位置づけ		SDGsの目標No	4・10・11
会場	武里大枝公民館　講堂	教材資料等			
実施までの経過	6月25日　第1回打合せ 以降、随時打合せ 9月24日　大会開催	PR方法	公民館だより「けやき」9月号掲載 ブログ、ポスターにて広報		
		受付方法	当日自由参加		

月日(曜)	時間	内容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏名
回数	総時間数			男	女	合計	
				計	計		
9月24日(日)	14:00～16:00	・発表者は6か国の10名 ・地域住民も自由参加で外国人の日本語による発表内容を鑑賞した 	体験	25	20	45	武里日本語教室
1回	2時間			25	20	45	

企画運営上の工夫	・武里団地に外国人が多く居住しており、大枝公民館では多くの外国語講座が開催されていることから、国際交流を図る事業の実施を積極的に行った。 ・スピーチを行う外国人の募集は、武里日本語教室が行った。 ・公民館では、聴衆となる地域住民へのPRを武里日本語教室と協力して行った。 ・当日の準備や会場設営、および運営は主に武里日本語教室が行い、公民館は、自主的運営をバックアップした。
成果 参加者の声など	・発表者10人は、それぞれ自ら発表テーマを決めて、慣れない日本語で大勢の前で緊張しながらスピーチをやり遂げたことで達成感を味わえた。 ・聴衆約30人は、一生懸命に発表する姿を温かく見守っていたと同時に、外国人のものの考え方や感じ方の違いにうなずいていた。 ・地域と地域で活動している外国人との交流のきっかけになった。
課題と展望	・地域住民と地域外国人との異文化交流を、より促進していくための事業の検討を進める。

事業名 テーマ	第55回　武里団地体育祭	対　象	地域住民	定員	各種目 最大80名 程度
ねらい	健康の維持・増進と体力の向上を図るとともに、地域住民の交流と親睦を深める機会づくりとする。				
協力機関 及び団体	武里南小学校 武里南地区自治会協議会 5街区町会	特　色 位置づけ	重点事業	SDGsの目標No	3・11・17
会　場	武里南小学校校庭	教　材 資料等	プログラム 競技参加者に参加賞		
実施までの経過	7月12日　第1回実行委員会 9月21日　第2回実行委員会（競技役員打合せ） 10月7日　前日準備 10月8日　事業実施 〃　第3回実行委員会（反省会）	PR方法	公民館だより9月号掲載 プログラム全戸配布（公民館だより10月号と同時配布） ポスター掲示		
		受付方法			

月日（曜） 回　数	時　間 総時間数	内　容	方法	参加者 男 計	参加者 女 計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏　名
10月8日（日）	9:30～10:40	第55回 武里団地地区体育祭 地区別　1種目 自由参加　3種目	競技	250	150	400	
1回	1時間10分			250	150	400	

企画運営上の工夫	・団地内の高齢化を鑑み、テントや入退場門を設営しないなど、会場設営などの事前準備及び当日の運営等の負担を極限まで減らし実施した。 ・年齢を問わず楽しめるよう順位をつけずに競技を行い、参加者全員が賞品を得られるようにした。
成果 参加者の声など	・「地区対抗のバトンつなぎは順位をつけなかったので楽しく走れた」、「今回の内容だったらこれから先も続けられそうな気がする」など5年ぶりの開催できたことに対する喜びや次回開催に向け前向きな声が多かった。 ・車いすの方も競技に参加する様子が見られ、誰もが参加できる大会となった。
課題と展望	・「ゴールの場所が分かりづらかった」との意見があり、今大会の運営方針を踏襲しつつ、次回開催に向け競技内容、競技数や競技実施方法の見直しを図る。 ・より多くの方に参加してもらえるよう自治会協議会、町会と協力しながらPRを徹底していきたい。

武里南地区　9

事業名 テーマ	武里図書館共催事業 ①ビブリオバトルin武里 ②武里子ども司書講座 ③クリスマスおはなし会	対象	①一般 ②小学3～6年生 ③幼児と保護者	定員	①ﾊﾞﾄﾗｰ5名、観戦者15名 ②3名 ③16名
ねらい	図書館が併設されている特色を生かし、図書館と公民館双方の利用者が交流を促し、社会教育施設としての幅を広げるとともに、図書との触れ合いを通し、若い世代が中心となった事業を展開することで、地域住民の情操の純化を図る。				
協力機関及び団体	武里図書館	特色位置づけ		SDGsの目標No	4・11
会場	武里大枝公民館　研修室	教材資料等	武里図書館で準備		
実施までの経過	10月～12月　事業実施までに打合せ 11月12日　①事業実施 11月26日　②事業実施 12月16日　③事業実施	PR方法	公民館だより11・12月号掲載 武里図書館だより掲載 ポスター掲示		
		受付方法	武里図書館で受付		

月日(曜) 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男計	参加者 女計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
11月12日(日)	14:00～15:30	①発表者(バトラー)が自分の好きな本を5分間で紹介し、観客が最も読みたくなった本に投票して優勝本を決める。	実演 鑑賞	5	10	15	武里図書館
11月26日(日)	13:00～16:00	図書館の仕組みや司書の仕事を学ぶ	実技		1	1	
12月16日(土)	15:00～15:40	クリスマスにまつわる絵本の読み聞かせ	鑑賞	6	6	12	
1回	1時間30分			11	17	28	

企画運営上の工夫	①②図書館は、近隣中学校とのつながりを密にすることで、出場者の確保に努め、公民館は、利用者へ積極的に声掛けすることで観覧者の確保に努めた。③大型絵本や人形劇など普段のお話し会にはないバラエティに富んだ内容とするとともに、サンタクロースからのプレゼントとして、公民館で活動をしているサークルで作成した作品を渡すなど、サークル活動とのつながりを持つきっかけづくりができた。
成果 参加者の声など	①高校生や一般からの参加もあり、若い世代にもニーズのある事業であることが分かった。 ②図書館の仕組みや司書の仕事を楽しく学ぶことができた。 ③子どもだけではなく、保護者も楽しんでいる様子もうかがえ、落ち着いた雰囲気の中、事業が実施できた。
課題と展望	①観戦者より「発表の際、声がマイクを通して聞こえず、よく聞こえなかった」との指摘があり、事前のチェックとしてリハーサルを取り入れることを検討する。 ②③図書館と公民館の連携より強化し、公民館事業として昇華するため、より一層の内容の充実を図る必要がある。

事業名 テーマ	クラブ・サークル連絡会	対　象	公民館利用者等	定員	各団体2名まで
ねらい	公民館の適正な利用と円滑な運営について考えるとともに、利用者と公民館の連絡及び利用者相互の交流を図る機会とする。				
協力機関及び団体		特色位置づけ		SDGsの目標No	4・11
会　場	武里大枝公民館　講堂	教材資料等	公民館利用の手引き		
実施までの経過	12月1日　利用団体へ案内を配付 1月20日　事業実施	PR方法	各サークルへ案内を直接配付 公民館だより1月号に掲載		
		受付方法	当日受付		

月日(曜)	時　間	内　容	方法	参加者 男	参加者 女	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏　名
回　数	総時間数			計	計		
1月20日(土)	11:00～12:00	クラブ・サークル連絡会 ・公民館の利用方法 参加団体数 51団体	説明	15	40	55	公民館職員
1回	1時間			15	40	55	

企画運営上の工夫	・団体への直接の案内に加え公民館だよりにも掲載することで、周知期間を十分に確保した。 ・諸感染症の感染防止措置として、1団体につき2名までの参加とした。 ・人権教育研修会と同時開催することにより、より実りのある連絡会とした。
成果 参加者の声など	・新型コロナウイルス感染症が一定の落ち着きを見せ、公民館活動が活性化する中、利用方法等について改めて確認する場となった。 ・今年度の新たな事業として開始した「サークル発表会」についてPRする機会となった。
課題と展望	・一定の参加者数を確保できる事業であるため、地域のニーズを反映させたイベントの同時開催について検討を進め、より実りある事業を目指していく。

武里南地区　11

事業名 テーマ	人権教育研修会	対象	公民館利用者及び利用予定者	定員	定めず
ねらい	自分らしく生きられる社会を目指し、他者との違いを理解するとともに、人権が尊重されることを目的とする。				
協力機関及び団体	社会教育課	特色位置づけ		SDGsの目標No	10・11・16
会場	武里大枝公民館　講堂	教材資料等			
実施までの経過	10月下旬　講師依頼 11月5日　講師との打合せ 以降メール等随時調整 1月20日　事業実施	PR方法	各サークルへ案内を直接配付 公民館だより1月号に掲載		
		受付方法	当日受付		

月日(曜)	時間	内容	方法	参加者 男	参加者 女	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
回数	総時間数			計	計		
1月20日(土)	10:00～11:00	異文化理解・多文化共生のためにできること～日本で出産を経験した外国人女性のインタビュー調査から～	講演	10	48	58	埼玉県立大学 保健医療福祉学部 看護学科 齋藤　恵子 准教授
1回	1時間			10	48	58	

企画運営上の工夫	・同日に公民館を利用しているクラブ・サークル団体の連絡会を開催することでより多くの参加者を募った。 ・外国人居住者の多い武里南地区において、外国人の人権について研修を行うことで、地域の方々に様々な人権を身近な問題として認識してもらった。
成果 参加者の声など	・講師のラオスでの体験を興味深く聞いている様子がみられた。 ・アンケートの結果から、多くの参加者が一定の関心や理解を得られた一方、遠くの事として捉えていたとの意見もあり、人権問題、特に外国人の人権問題について、改めて意識するきっかけを作ることができた。
課題と展望	・今後もより多くの地域の方に、身近な問題として意識してもらえるよう、様々な観点からの人権に着目した多様な研修が必要である。 ・講演時間が長いとの意見もあり、時間や進め方にも工夫をしていきたい。

事業名 テーマ	高齢者安心安全教室 ～特殊詐欺被害防止ワークショップ～	対象	地域住民	定員	100名
ねらい	高齢化率の高い武里南地区において、高齢者が安心安全に生活するための基礎知識を身につける場として、地域全体で課題を解決することを目指す。				
協力機関及び団体	社会福祉協議会武里団地福祉ニーズ対策委員会	特色位置づけ	「お茶飲み会」と合同で開催	SDGsの目標No	11・16
会場	武里大枝公民館　講堂	教材資料等	埼玉県防犯・交通安全課にて用意		
実施までの経過	7月14日　講演申し込み 電話にて打ち合わせ 2月18日　事業実施	PR方法	公民館だより2月号に掲載		
		受付方法	当日受付		

月日(曜)	時間	内容	方法	参加者 男	参加者 女	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
回数	総時間数			計	計		
2月18日(日)	10:00～12:00	「特殊詐欺被害防止ワークショップ」 警察官OBによる事例紹介のほか、特殊詐欺対策機器の使い方の実演など	講演	11	34	45	埼玉県防犯・交通安全課 特殊詐欺被害防止マイスター
1回	2時間			11	34	45	

企画運営上の工夫	・社会福祉協議会武里団地福祉ニーズ対策委員会が毎月行っている「お茶飲み会」と共催することにより、多くの高齢者が参加できるようにした。 ・特に高齢者が被害に遭いやすいと言われる特殊詐欺への警戒を、より高められるようワークショップ方式で行った。
成果 参加者の声など	・実例を交えての講演に、うなずきながら聞いている様子が窺えた。 ・実際の詐欺犯人との被害者との電話のやり取りや、再現VTRの視聴・特殊詐欺対策機器の紹介など、より具体性をもって注意喚起することができた。
課題と展望	「特殊詐欺」をテーマに埼玉県の出前講座を利用したが、今後も出前講座等を活用し、高齢者が興味・関心をもって参加できる講座を検討する。

武里南地区　13

事業名 テーマ	教養講座 ①「オレンジカフェ」 ②介護者交流サロン「福」	対象	地域住民	定員	①20名 ②定めず
ねらい	認知症の方やその家族、地域の方や専門職が集い交流を楽しめる場として、また介護についての悩み事などを自由に話しあえる場所を提供する。				
協力機関及び団体	第6地域包括支援センター	特色位置づけ	共催事業	SDGsの目標No	3・4 11・17
会場	武里大枝公民館	教材資料等	内容によって異なる		
実施までの経過	公民館だよりにて広報を行う	PR方法	公民館だより掲載		
		受付方法	第6地域包括支援センターに事前申込		

月日(曜) 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男計	参加者 女計	参加者 合計	講師・助言者の職名氏名
4/5・5/10・6/7・7/5・8/2・9/6・10/4・11/1・12/6・1/17・2/7・3/7	1部 13:00～14:00 2部 14:10～15:10	オレンジカフェ 認知症の方と家族などが気楽に集い交流を楽しむ (毎月第1火曜日)	交流	42	486	528	第6地域包括支援センター
4/28・5/16・6/23・7/28・8/25・9/22・10/27・11/24・12/23・1/26・2/16・3/23	13:30～14:30	介護者交流サロン「福」 (介護者どうしの交流) (毎月第4木曜日)	交流	7	65	72	第6地域包括支援センター
24回	36時間			49	551	600	

企画運営上の工夫	①認知症やその家族、地域住民や専門家が気軽に集い交流するきっかけとなり、脳トレや小物づくりなど毎回異なる企画を設けることにより、参加者が楽しく参加できるよう工夫した。 ②毎月定期的に開催することにより、参加者が外出するきっかけづくりを行った。
成果 参加者の声など	①継続して参加する方のほか、新規の参加もあり、毎回盛り上がりを見せている。 ②毎回継続して参加する方が多く、同じ経験を共有する仲間に出会える場となっている。
課題と展望	第6地域包括支援センターとの連携を強化し、企画内容の充実を図る。

事業名 テーマ	体験講座 武里南「出会いの広場」	対象	一般	定員	事業により異なる
ねらい	武里団地地区の住民を中心とし、心と身体の健康促進の一環として実施する。体験を通して学習し、技術の向上及び地域住民の交流を深め、公民館利用団体の発表の機会を作るとともに、地域住民の交流・親睦の促進を図る。				
協力機関及び団体	ドコモショップせんげん台店、明治安田生命保険相互会社、第6地域包括支援センター、公民館利用団体	特色位置づけ	重点事業	SDGsの目標No	4・11・17
会場	武里南地区公民館	教材資料等	事業により異なる (プログラム・講師作成の資料等)		
実施までの経過	各事業において、開催までに講師折衝、打合せ、広報を行う	PR方法	公民館だよりに掲載 ポスター掲示・チラシの配布		
		受付方法	事前申込制		

月日(曜) 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男 計	参加者 女 計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
5月19日(金)	11:00～12:30	新緑の森さわやかコンサート	鑑賞	3	42	45	コール・アネモネ
6月18日(日)	10:30～11:30	脳を鍛える認知症予防 (けん玉、折り紙)	講義 体験		25	25	第6地域包括支援センター 公民館職員、外塚勝江
6月29日(木)	13:00～15:00	初夏の風に乗せて	鑑賞	3	18	21	ないすはっつ
7月20日(木)	13:00～17:00	健康マージャン(初心者コース)	体験	4	4	8	麻雀＆囲碁会
7月27日(木)	13:00～17:00	健康マージャン(経験者コース)	体験	6	2	8	(当公民館利用団体)
7月23日(日)	13:30～14:30	ウクレレ鑑賞会①	鑑賞	10	45	55	ウクレレ・ヴィレッジ
8月20日(日)	13:30～14:30	ウクレレ鑑賞会②	鑑賞	14	43	57	タートルズ
9月28日(木)	10:00～11:30	睡眠と健康の知恵袋講座	講義	4	26	30	明治安田生命保険相互会社
10月19日(木)	10:00～12:00	LINE(ライン)体験教室①	講義	7	13	20	ソフトバンク専属講師
	14:00～16:00	LINE(ライン)体験教室②	講義	4	15	19	
10月22日(日)	13:30～15:00	オータムコンサート	鑑賞	12	48	60	ムーンファイブ
10月24日(火)	10:30～12:00	すずらん歌声広場	合唱	5	42	47	すずらん 田宮佳恵
11月18日(土)	14:00～15:30	秋麗音楽会	鑑賞	8	54	62	父ちゃんバンド
12月2日(土)	13:30～15:00	ちょっぴり早いクリスマスコンサート	鑑賞	12	49	61	なちゅ☆らる
14回	26時間			92	426	518	

企画運営上の工夫	・複雑化する地域のニーズに幅広く応えるため、音楽や健康、DXなど事業内容の充実を図り、バラエティに富んだ事業を実施した。 ・鑑賞や講義だけでなく、参加者全員による合唱や体験など、様々な手法により事業を展開した。 ・市内公民館利用団体を中心に出演を依頼し、参加者と演者がより近い距離で触れ合えるようにした。
成果 参加者の声など	・いずれの事業においても、「自宅の近くにある公民館で事業をやってもらえてうれしい」という声が多く聞かれた。
課題と展望	・公民館にて地道にサークル活動を継続されている団体に、成果発表の機会を提供することはサークルの維持と共に新規メンバー獲得のチャンスにもつながる重要な事業であり、さらなる充実を図る。 ・今後も、事業に関わるすべての「人と地域」が出会える、交流の場を提供できるよう、魅力ある講座を企画する。

武里南地区　15

事業名 テーマ	武里団地着工60周年記念事業 ①記念講演会と写真パネル展示会 ②武里団地寄席	対象	一般	定員	40名
ねらい	1963年に着工した武里団地が今年11月に60周年を迎えるに当たり、記念行事として講演会と写真パネル展示会を同時開催するとともに、埼玉県内を「結成60周年特別記念公演」で巡業している伝統ある『埼玉落語会』を招き、60周年の記念コラボ企画として開催する。地域住民に対してメモリアルイベントとして位置付け、過去の郷愁に触れると共に郷土愛の醸成を図る。				
協力機関及び団体	①URコミュニティ、郷土資料館、シティセールス広報課 ②埼玉落語会	特色位置づけ	新規事業	SDGsの目標No	3・4・11
会場	武里南地区公民館	教材	①レジュメ・冊子「1960年代の春日部」・武里団地川柳俳句集		
実施までの経過	6月中　事業企画立案 7月中　関係部署、出演者等との打合せ 11月19日　①実施 12月17日　②実施	PR方法	公民館だより11・12月号に掲載 ポスター掲示		
		受付方法	武里南地区公民館へ直接又は電話で受付		

月日(曜) 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男計	参加者 女計	参加者 合計	講師・助言者の職名氏名
11月19日(日)	13:00～15:00 12:00～16:00	講演会一部「武里団地の歩み」 講演会二部「武里団地と私」 館内展示「写真パネル展」 写真パネル・建物模型・川柳集 広報かすかべ・武里音頭レコード	講演 展示	21 35	17 28	38 63	かすかべ親善大使 太田裕美・ビビる大木 郷土資料館学芸員 巻島隆(元9街区)
12月17日(日)	13:30～15:00	落語会の開催 「武里団地寄席(埼玉落語会結成60周年記念特別公演)」	実演	16	24	40	出演者4名 埼玉落語会メンバー
1回	5時間30分			72	69	141	

企画運営上の工夫	①武里団地に縁のあるかすかべ親善大使からお祝いメッセージを披露し、参加者の満足度向上を図るとともに、当時の建物模型・入居募集案内書や武里音頭レコード原盤、広報かすかべ昭和38年版、公民館所蔵のスナップ写真などを展示し、古き良き時代に思いをはせ、昔を思い出せる空間を創出した。 ②普段利用が少ない男性を呼び込むことが出来る企画として「落語」での事業を展開し、和室を寄席会場に見立て、装飾物等で本場感を演出した。
成果 参加者の声など	①「武里団地の歴史・歩みが分かり大変勉強になった」、「懐かしい写真を見て、入居当時の思い出が蘇ってきた」など、昔を懐かしむ声が多く聞かれた。 ②「落語は初めて聞いたが、とても楽しく久々に大きな声で笑った」、「車椅子の妻と一緒に参加したので、遠くへ行かずに近くで聞けて有難いです」、「高座や金屏風が立派でまるで寄席演芸場に居るみたいな雰囲気で最高でした」といった好意的な声が多く、日本の伝統をとおして地域住民の郷土愛を育むことができた。
課題と展望	・いずれの事業も大変反響が大きく、講演会・展示会とも大盛況であり、初期から入居された高齢者から最近越してきた若いファミリーまで幅広い層に見てもらうことが出来た。 ・「武里団地寄席」については、定員を大幅に上回る応募があり、需要が高いことが分かったため、今後は落語を含めた娯楽・教養講座をさらに充実していく。 ・住民側から見た入居からの60周年は3年後となるため、今後、団地自治会で記念イベントが計画された際に、公民館として協力・支援をしていく。

事業名 テーマ	武里団地文化祭	対象	利用サークル及び地域住民	定員	定めず
ねらい	公民館利用者の学習成果を発表し、利用者相互の交流及び親睦を深めるとともに、地域住民の公民館活動への理解を深めることを目的とし、地域住民のふれあいの場とする。				
協力機関及び団体	武里団地文化祭実行委員会	特色位置づけ		SDGsの目標No	
会場		教材			
実施までの経過	実行委員での運営が困難と判断し、文化祭実行委員会議において中止が決定された。 （実行委員会は利用サークルで組織）	PR方法			
		受付方法			

月日（曜） 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男 計	参加者 女 計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
0回	0時間			0	0	0	

企画運営上の工夫	中止に伴う代替事業として、「サークル発表会」の実施を決定した。
成果 参加者の声など	
課題と展望	・利用者の高齢化が進む中、従来の文化祭運営が困難なことから、実行委員会方式以外の運営方法を検討が必要である。 ・今後は積極的に若い世代の意見を聞き取り、近隣の学校と連携し、ボランティアスタッフの確保に注力していく。

武里南地区　17

事業名 テーマ	公民館だより「けやき」発行	対象	地区住民	定員	
ねらい	公民館事業のPRや報告、地区内社会教育団体の活動PR及び地域情報を武里団地地区内の住民に提供する。				
協力機関及び団体		特色 位置づけ		SDGsの目標No	11
会場		教材 資料等			
実施までの経過	発行月前月上旬　原稿調整 発行月前月中旬　編集・校正 発行月前月下旬　印刷 1日発行	PR方法			
		受付方法	掲載依頼記事は発行月前月の10日まで		

月日(曜) 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男 計	参加者 女 計	参加者 合計	講師・助言者の職名氏名
4月～3月 発行		公民館事業の案内等 約6,400部/回発行					
12回							

企画運営上の工夫	公民館事業やサークル活動の紹介などの情報を、わかりやすく伝えると共に、公民館活動への興味・関心を深めてもらえるような魅力ある紙面づくりに努めた。
成果 参加者の声など	公民館事業参加者へのアンケート結果によると、公民館だよりを見て情報を得たという回答が多く、事業実施のうえで重要な広報手段となっている。
課題と展望	事業案内など積極的に情報提供を行いながら、魅力ある紙面づくりに努めたい。